

週日の説教

金 大烈 神父 2010年11月9日(火)

《聖堂は、イエス様がいらっしゃる場所》

今日の福音に入る前に、教会の用語の意味を間違える人がいるようなので、少し説明をします。

『教会』というのは、建物を指す言葉ではありません。同じカトリック信仰を持っている人々の集まりのことを『教会』と言います。カトリック太田教会というのは、この建物や建物に付属している物を言うのではなく、ここに集まる人々のことを言います。では、『礼拝堂』というのは何でしょうか。

『礼拝堂』は、プロテスタント教会の人々が礼拝をする建物のことです。私たちが今いる建物は、『礼拝堂』ではなくて『聖堂』と言います。『礼拝堂』は、礼拝のできる場所ならばどこでもよいのですが、『聖堂』は聖櫃の置かれている建物です。聖なる建物なので『聖堂』と言います。『教会』というのは、建物のことだと考える人が多いのですが、カトリック太田教会は、建物も人も全てを言います。そして、今皆様が集まっているこの建物は『聖堂』、新教の人たちが礼拝をする場所を『礼拝堂』と言います。巡礼に行かれた方は分かると思うのですが、『大聖堂』と呼んでいて、『大教会』とか『大礼拝堂』とは呼んでいませんでしたね。

巡礼で行かれた聖堂の一つに「ラテラン聖堂」、別名「聖ヨハネの聖堂」があります。そのラテラン教会の祝い日が今日です。そして、今日選ばれた福音(ヨハネ2・13-22)は、教会で商売する者へのイエス様の怒りの場面でした。では、イエス様は、聖書の中で何回怒ったと思いますか。実は、このように乱暴に激しく腹を立てられたのは、この聖堂の中で商売する者たちの話の時だけです。いつも「敵さえ愛しなさい」とおっしゃるイエス様が、この聖堂の場面だけは、我慢できなかったのです。私たちは、それを見習わなければならないでしょう。

“聖堂を商売するところにしてはいけない”というのはどういうことでしょうか。私は初めてこの太田教会に来た時、市場のようにうるさくて落ちつかない姿に驚きました。「これが聖堂か。これがミサのために集まっている人の姿か。」と思い、本当に頭が痛くなりました。4年経って、少なくとも日本語のミサはある程度落ち着きました。しかしまだ満足はできません。「なぜこんなにおしゃべりが多いのか。」と思います。聖堂に入るとおしゃべりが始まります。聖堂の後ろに置いてある配布物も、外に出して配布するようにしました。その理由を分かって、聖堂の中ではおしゃべりは避けてほしいと思うのに、おしゃべりをする人がいます。歩く時も聖堂の中では音を立てないように歩くべきです。雑音はできるだけ避けなければなりません。イエス様がいらっしゃることを意識して行動するべきです。だから、スリッパとかノースリーブの服で教会に来るのは望ましいことはありません。しかしみんな大人ですから、私は注意しにくいのです。そのくらいは、自分で気づいてほしいと思います。

たとえば、第一朗読の担当になったとしましょう。そうしたら、一番きれいな服を着て祭壇に上がるべきです。朗読するみ言葉を述べ伝えるために、準備が必要です。身なりを整えて、どのくらい心

をこめて、朗読のために準備してきているかを、みんなに分かるようにする必要があります。外で遊んでいた汗だらけの姿で、第一朗読を頼まれたら祭壇に上がり、自分の読む箇所さえ分からなくて間違えた福音を読む、そういう失敗をイエス様が喜ばれるはずはありません。

この聖堂は、私たちが大事にしなければなりません。聖堂を出る時に片付けないと、他の人に迷惑をかけるのではなく、イエス様に迷惑をかける、と思うべきです。この聖堂の尊さは、私たちが守らなければなりません。皆様も、聖堂にいる間は、100パーセントイエス様に集中するように意識してください。そして集中している周りの人々の心を自分の行動で乱す可能性がないか、気をつける気持ちを持ってください。もしミサに遅れて聖堂に入るならば、申し訳なさそうな顔をして、静かに座ってください。大きな音を立てて動くのは、正しいことではありません。私は、一度も携帯電話の音で表情を変えたことはありませんが、心は痛みます。そういうことがないように、私たちは準備をしてミサに与るべきです。

そのようなことを考えながら、今日の福音のイエス様の怒りの心を図ってみましょう。聖なる場所、『聖堂』という言葉にふさわしい態度をしなければならぬ気持ちになると思います。『聖堂』は、本当に素晴らしい所です。

ありがとうございました。